

富山経協



夜に咲くサガリバナ (解説・16ページ)

CONTENTS

- 2 西部地区会員懇談会 (報告)
- 2 講演会 (要旨) 「デジタル資本主義 ～GDPからウェルビーイングへ」
- 4 調査報告
 - 2023年夏季賞与・一時金支給状況〈最終集計〉
- 5 人事労務管理 INFORMATION
- 6 Top Interview
 - いなほ化工 花田将司社長
- 8 事業活動報告
- 8 北陸三県・長野県経営者協会役員協議会
- 9 委員会活動
- 9 新委員長の紹介
- 10 富山県生活環境文化部との情報交換 (講演要旨)
- 11 講座・セミナー
- 11 参加者NOTES
- 15 新会員の紹介
- 15 会員の動き
- 17 労働指標
- 18 おしらせ・事業予定

西部地区会員懇談会

7月28日(金)、ホテルニューオータニ高岡において120名(会場97名、オンライン23名)が参加して西部地区会員懇談会を開催した。

第1部の講演会では、株式会社野村総合研究所未来創発センター デジタル社会研究室室長 森健氏を招き、「デジタル資本主義 ～GDPからウェルビーイングへ～」と題して講演を行った。(講演要旨は下記掲載)

第2部の懇親会では、西部地区担当の八十島副会長が1部の講演内容に触れ、「経営者協会の今年度の活動テーマは『エンゲージメント向上による現場力強化』で、人口減少・少子化の中で人材確保が喫緊の課題となっており、これらを解決するにはダイバーシティ&インクルージョンやウェルビーイングの考え方に基づいて働く人個々人の自主自立を尊重することが必要で、森先生の講演はウェルビーイングの評価方法の考え方や企業の付加価値を上げていくことに対して大変参考になる」と開会の挨拶をした。来賓の新田知事より「高岡での設備投資の記事が本日の日経一面に載り、大変うれしいことだ。コロナ禍後に民間が発展できる土壌づくりに県としても努めていく」と祝辞があった。

続いて、山下会長が「経営者協会では西部、富山、東部と3地区で懇談会を開催しており、会員の



八十島副会長

新田知事

山下会長

大門副会長

皆様にはどの地区に参加していただいても構わないので、富山や東部地区への参加もお願いしたい。この場を懇談・懇親の場として皆様の発展の一助になればと思う」と述べて、乾杯の発声をした。

和やかに歓談の輪が広がり、中締めとして大門副会長から「経営者協会ではいろいろな階層やレベルに合わせた研修やセミナーを行っており、筋肉質な企業を目指すためにも今後とも当協会へのご支援ご協力を頂戴したい」と挨拶して一本締めを行った。

● 講演会(要旨)

デジタル資本主義 ～GDPからウェルビーイングへ～

株式会社野村総合研究所 未来創発センター
デジタル社会研究室 室長 森 健 氏



コロナ禍と社会のデジタル化

コロナ禍となってこの3年ぐらいで社会のデジタル化がものすごく進んだ。オンライン会議ツールを使ったコミュニケーションのデジタル化が進み、買物もEコマースの比率が2020年に一気に4倍となり、輸送のデジタル化でもドローン配送や自動運転による配送が海外で進んだ。

インターネットが普及し、日本人のかなり多く(約65%)がその利便性を評価している。

世界全体のモバイルデータトラ

フィック量予測によると、指数関数的にデータは増え、100年後に振り返ると21世紀はデータ爆発の時代だったと評価されるだろう。

産業革命以降の産業資本主義は、生産能力を拡大させたことにより食糧が増え、人口が増えた。増えた人口が労働者として生産活動に参加し、かつ消費者として購入するので、人口の拡大が経済成長の大きなドライバーとなっていた。

私が言うデジタル資本主義とは、爆発的に増えるデータが資本主義のエンジンになっていくというこ

と。データをいかにうまく使うかということで、今まさにデータ関連のビジネスも出始めている。データをつくる(生成)、データの収集、保存、加工、精製等々。ただ、これをやるのは人間というよりも、チャットGPT、GPT4などの生成AIではないか。人間はデータの質の評価といった面で貢献していくだろう。

GDPからウェルビーイングへ

日本の平均給与の実質値は2000年代に入ってから下がり、GDP成長率も完全に低迷している。経済

指標をみると日本はまさに「失われた」何十年のなかにいる。

他方、野村総研のアンケートでは、2009年頃から日本人の主観的な生活水準はよくなっている。NHKの世論調査でも2010年頃から日本人の生活満足度は徐々に高まっている。経済指標では捕捉できていない豊かさの理由があるのではないか。このタイミングで何があったか。実はアップルがiPhoneを発売したのが2007年で、日本では2008年から発売され、その後、スマートフォンの浸透が一気に進んだ。このことが一つ象徴的に日本人の主観的な生活満足度を上げているのではないかと仮説を立てた。

実際に、スマホをよく使う人ほど自分の生活水準を高く評価している人が多い。先ほど、日本人はインターネットの利便性を高く評価しているという調査結果があったが、それをさらに拡大させたのがスマートフォンだろう。デジタルは使い方によってプラスもマイナスも両面あるが、我々のウェルビーイングに対してはプラスになることが間違いなくあるはずだ。

製品（サービス）にはそれを生み出すコストがあり、一方、お客さんにはいくらまでなら支払ってもいいという支払意思額がある。その間に実際の価格があって、この価格とコストの差が「生産者余剰」、つまり企業の利潤となる。それを全部積み重ねたものがGDPになる。他方、価格と支払意思額の差は「消費者余剰」、お得感みたいなもので、当然GDPには計測されない。

デジタル化の影響として、価格を押し下げるといった方向があった。それにより消費者余剰は拡大するので、GDPに換算されていない価値が拡大しているのだろう。

無料のデジタルサービスも莫大

な価値を生み出している、これもGDPには計測されていない。無料で使えるSNSサービスや、検索エンジンなど、GDPで捕捉できていない価値が日本でどのくらいあるかを試算したところ、2020年で263兆円（同年のGDPの半分くらいの規模）が生まれているのではないかと数字が出た。国が発表するGDPは2019年から2020年にかけてコロナがあったのでマイナス4.5%だったが、消費者余剰は私どもの見立てではむしろ増えている。実は日本人は、デジタルがあったことでいろいろな利便性を得て、消費者余剰という見えない価値は生み出されていたのではないかと。

生活満足度は所得が上がれば上がっていくが、1人当たりGDPが2万ドルを超えてくると横ばいになっていく。一方、デジタル指標と生活満足度の相関係数は高く、先進国になってくると、生活満足度の向上は、GDPよりもデジタル化のほうが有効かもしれない。

デジタルが生み出す

「増価蓄積」メカニズム

新品の価値が高く、そこから価値が下がっていくのが減価償却の世界である。それに対して、デジタルによって逆の動きが出てきている。これを表すのに「増価蓄積」という新たな言葉を作ってみた。

テスラはEVのイメージが強いと思うが、ソフトウェアが重要な役割を果たしていて、特にアメリカではアップデートを頻繁に行い、ブレーキやGPSや航続距離の性能が上がっていく。

AIも、機械学習でどんどん精度が高くなる。新品の価値が最も低く、使うにつれて価値が上がっていく世界である。

デジタルがもたらす増価のメカニズムはいくつかある。「ネットワーク効果」は使う人が増えれば増えるほど価値が高くなる。「マ

ッチング効果」も利用者が増えれば増えるほど満足度が高くなる。AIの「学習効果」は典型的な増価蓄積である。「時間や空間の制約を緩和」といった増価メカニズムもある。「ユーザー参画効果」はユーザーが価値を生み出し蓄積する。「可視化効果」は様々な情報（CO2排出など）を可視化することで新たな価値を生み出している。

デジタル時代にどんな価値に対して人々はお金を支払うかについて、整理した人がいる。「信頼」が高いもの。「パーソナライズ」された自分向けのもの。投げ銭や推し活みたいな「支援」にお金を払う。「リアル」なこと。「発見可能性」は、アマゾンのように検索したら発見できると分かっているところ。「即時性」。「アクセス可能性」はいつでもどこでもアクセスできることにお金を支払う。そしてハウツー本のような「解釈」にお金を払う。デジタル時代でも、こういった要素が製品やサービスに入っていれば、人々はお金を払うだろうということだ。

皆様のビジネスにはこの「増価蓄積メカニズム」が組み込まれているだろうか。この問いかけが非常に大きなポイントかと思う。

見えている近未来

2030年代には世界のどこかで、空飛ぶ車、3Dプリンターでの住宅、AIアナウンサー、テレワークの進化版という意味でのホロボーテーション（立体映像の投影）が、普通にあるだろうと、私は個人的に思っている。

2035年ぐらいに振り返ると、2020年代はコロナをきっかけにした社会の急激なデジタル化や生成AIの登場、近未来的技術の実用化、商業化が始まり、本当に劇的な変化の始まりだったと感じているのではないだろうか。

2023年夏季賞与・一時金支給結果〈最終集計〉

県内

179社 単純平均 510,045円、
前年比 1.15%増 — 2年連続のプラス

会員企業を対象に実施した「2023年夏季賞与・一時金支給結果」（単純平均・最終集計）は、集計可能な179社の支給額平均が510,045円で、今回回答のあった179社の前年同期の支給額平均504,256円と比べると、金額で5,789円、率で1.15%増と、2年連続の増加となった。

業種別では、製造業は前年同期比0.22%増加の496,732円、非製造業は同2.13%増加の524,766円となり、製造業は微増という結果となった。

製造業では12業種中6業種が増加し、鉄鋼・非鉄金属は15.91%、食料品・飲料は6.68%の増加となった反面、電子・電気機械器具が9.50%、その他製造業が6.26%減少となった。

非製造業では10業種中6業種で増加し、学術・専門・技術サービスが10.35%、電気・ガスが6.15%増加となった反面、建設は1.39%、情報通信は0.94%の減少となった。（表）

しかしながら、製造業、非製造業ともに、企業間のばらつきが見受けられた。

県内企業の2023年夏季賞与・一時金支給結果〔単純平均〕

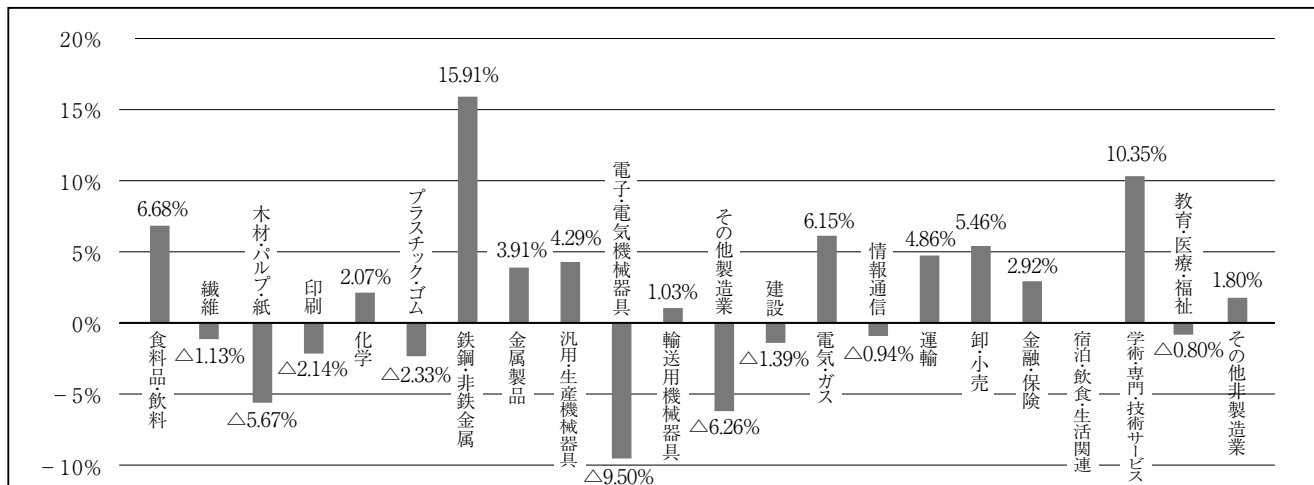
〔最終集計—2023年8月2日〕

（一社）富山県経営者協会

業種	社数(社)	2023年夏季支給額(円)	2022年夏季支給額(円)	前年同期比(%)
食料品・飲料	3	332,870	312,014	6.68%
繊維	3	264,370	267,383	△1.13%
木材・パルプ・紙	6	439,416	465,853	△5.67%
印刷	4	344,146	351,655	△2.14%
化学	19	566,184	554,678	2.07%
プラスチック・ゴム	9	443,630	454,228	△2.33%
鉄鋼・非鉄金属	4	573,750	495,000	15.91%
金属製品	12	405,423	390,166	3.91%
汎用生産機械器具	15	583,752	559,739	4.29%
電子・電気機械器具	9	572,912	633,085	△9.50%
輸送用機械器具	3	597,390	591,288	1.03%
その他製造業	7	467,592	498,802	△6.26%
建設	17	567,415	575,387	△1.39%
電気・ガス	2	599,998	565,214	6.15%
情報通信	12	591,493	597,115	△0.94%
運輸	12	380,122	362,491	4.86%
卸・小売	16	481,233	456,305	5.46%
金融・保険	5	655,666	637,056	2.92%
宿泊・飲食・生活関連	1	—	—	—
学術・専門・技術サービス	5	632,845	573,493	10.35%
教育・医療・福祉	5	615,259	620,236	△0.80%
その他非製造業	10	453,805	445,789	1.80%
総平均	179	510,045 (559,807)	504,256 (567,026)	1.15% (△1.27%)
製造業平均	94	496,732 (548,135)	495,619 (563,552)	0.22% (△2.74%)
非製造業平均	85	524,766 (580,031)	513,808 (573,117)	2.13% (1.21%)

- (注) ① 調査対象458社のうち、集計可能な回答のあった179社の数値である。
 ② 「2022年夏季支給額」は、今回「2023年夏季支給額」の回答があった企業の数値である。
 ③ 平均欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

業種別前年比増減率



「イクボス企業同盟とやま」加盟団体を募集中です！

～ 富山県 働き方改革・女性活躍推進室からのお知らせ ～

富山県では、企業のトップが率先して男女がともに仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりを推進するため、「イクボス企業同盟とやま」を展開しています。

企業等のトップの皆様へ、部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス」となっただけ、本同盟に加盟いただくことで、イクボスや働き方改革に関する先進的な取組みを広めるとともに、企業等の枠を超えたネットワーク形成を支援します。

7月1日現在で211団体が加盟しており、県内のイクボスは着実に増えています。



◆ イクボス宣言をしましょう！

イクボスとして取組目標を宣言し、事業所のホームページや社内掲示板等で公表してください。

● 加盟のメリット

- イクボスや働き方改革に関する先進的な取組み等の情報を記載したニュースレターを年3回お届けします。
- 県が開催する働き方改革に関する講演会や講座の情報を随時提供いたします。
- 加盟団体の「イクボス宣言」等を県の特設サイトで紹介いたします。

下記に紹介しております、「富山県男性の育児休業取得促進補助金」の条件の1つにもなっております。



富山県男性の育児休業取得促進補助金

富山県では、少子化の一要因となっている女性の家事・育児の負担感を解消し、子どもを産み育てやすい環境づくりの促進を図るため、男性の育児休業取得者およびその事業主への補助を実施しております。

- 対象者：男性の育児休業取得者及びその事業主
- 補助額：各5万円
- 主な条件：
 - ・ 次の日数の育児休業を取得し、職場復帰していること
 中小企業…連続5日以上 大企業…連続14日以上
 - ・ 「イクボス企業同盟とやま」「元気とやま！子育て応援企業」「富山女性活躍企業」のいずれかに登録等されていること

制度の詳細は
こちらから▶



問合せ先 富山県働き方改革・女性活躍推進室 TEL：076-444-3137

「人事・労務相談室」のご案内 <無料>

会員の皆さまを対象とした人事・労務に関するご相談を、無料でお受けいたします。

- ・ 相談日：原則毎月第2、第3木曜日
 <2023年度9月～10月の開設予定日> 2023年9月5日、12日、10月10日、17日(火)
- ・ 時間：①13:30～14:10 ②14:20～15:00 ③15:10～15:50
- ・ 担当：社会保険労務士 松浦 辰夫 氏 (松浦社会保険労務士事務所)

※当協会ホームページより「相談申込書」をダウンロード後、相談内容を記載頂き、相談日2日前までに roumu-soudan@toyama-keikyo.jp へ送付ください。【予約制】

※相談日を定めておりますが、緊急の場合は当協会までご連絡ください。 TEL (076) 441-9588

ビジョンを共有し 成長図る 未来の農業への貢献目指す

いなほ化工株式会社 代表取締役社長
VISIONドリブンホールディングス株式会社
代表取締役CEO

花田 将司 氏



創業50周年を迎えられました。これまでの歩みをお伺いします。

鉄鋼の製造過程で発生する副産物が今も肥料に使われていますが、かつては全国の金属鉱山に肥料会社がありました。大手商社の鉄鋼部にいた祖父の花田正行がこの肥料に着目し、取り引きのあった高岡で1973年に販売を始めました。

東北の鉱山ともパイプがあった関係で1983年に秋田に、97年に岩手に育苗培土の製造工場を建設し、1999年には住友金属鉱山の子会社

を譲り受ける形で富山工場を取得し、土壌改良向けの肥料を製造販売する体制も整えました。2014年に取得した群馬の関東電工(株)では元肥や追肥などに用いる化成肥料を作っています。その他、飲食部門として3店舗を運営しています。**肥料が使われる農業を取り巻く事業環境はいかがですか。**

新型コロナや国際情勢が大きく変化し、食料に対する意識が高まっています。日本では農家の高齢化が問題になっていますが、肥料

に使う資源は90%以上を海外に頼っています。世界では人口増加が続き、食料だけでなく食料を生産する上での資源を含めた争奪戦の加速が予想されます。未利用資源の活用などを含めて自給率を上げなくてはなりません。

－事業加速に向けHD化－

具体的な取り組みはありますか。

昨年、下水処理場から出るスラグを加工して肥料を作り、全国で初めて肥料登録しました。また、コメ由来の原料を使った肥料の研究開発も他社と共同で行っています。国内の資源を活用した循環経済の中で、これからの新しい日本の農業の形に寄与できるようにと考えています。

6月にはフィリピンに現地法人を設立しました。同国はココナッツ生産世界第2位で、第一の目的は培養土の副資材に使うココナッツ殻の繊維の調達ですが、現地の農業振興にも寄与します。フィリピンは化学肥料を使ってきたため田畑の地力が落ちており、有機肥料の輸出を考えています。

さらに、種の加工工場も視野に入れています。海外の稲作は苗を育てることなく直まきすることが多く、種もみが水に浮いて鳥に食べられたり、出芽が不安定だったりするので、種に鉄粉や農薬をコーティングして栽培に用いられ始めています。将来、日本でも需要が出てきたときにすぐに対応できるよう技術を確立し、肥料以外の事業を育てていきます。

新事業が一気に動き出していますが、体制はどうされていますか。

今までとは違うマインドで革新を起こすには、成功体験にとらわれていてはスピード感が出ません。

昨年、持株会社を設立してホールディングス制にし、いなほ化工(株)をはじめとする国内4社を横並びとし、フィリピンの会社も加わりました。

これまでは各工場や販売会社それぞれで収益を考えていましたが、総務、経理、広報などは全てホールディングカンパニーで管理し、新規プロジェクトやコスト戦略、採用教育定着なども、各部門から集めた社長付の経営会議で議論し、各拠点は“作る”“売る”に特化させます。フィリピンの会社には専属の社長が就きましたし、その他の会社にも社長を抜擢し、権限を委譲していく予定です。

—幸せを追求し、成長を評価—

50周年で大きな組織改編です。

この節目に、企業理念も新しくしました。「“私たちに関わるすべての人々の幸せを追求します”実現に向かい、人として企業として成長を追い求めることを使命とします」と打ち出しました。

理念やビジョンというと、“我が社は”、“私は”などと主語が自分になりがちですが、自分や会社を通じてどんな社会を作りたいか、どんな世の中にしたいかということが大切だと考えるようになりました。

きっかけはコロナ禍に飲食部門が苦勞する中で、数字を追いかけ

るのではなく、社員の幸福度をどう上げるか、そしてお店というツールを通してどのように世の中を良くできるかということを議論してきました。

現在、ホールディングスを通じて実現したい社会=ビジョンを作っています。取引会社などステークホルダーの方にも参加してもらって、一緒に目指す姿を話し合っ

社内の人材育成はどのようにされていますか。

これまでは事業所単位で行ってききましたが、インナーブランディング、ビジョンの共感を中心にしながら、“作る”“売る”仕事を実践する中で、社員が成長できる仕組みと制度にシフトしていきます。

「こんな社会を一緒に作りましょう」というビジョンが採用の入り口となり、採用から教育・定着まで、ホールディングスで統一感をもって行きます。先進企業などから学んで、成績にとらわれない成長に軸を置いた人事評価なども取り入れていきたいと思っています。

女性活躍についてのお考えは。

女性だからと特別扱いするのは違和感を感じています。男女関係なく誰でも働きやすい環境を整えることが大事だと思います。

そのためには数値目標などより、非言語の部分、雰囲気などが一番

大切かと思います。私は子供の幼稚園の送り迎えに行くこともあり、そうすると女性社員も「急なお迎えに行っていていいですか？」と自然に言ってくれるようになりました。育児休暇は女性は全員取って職場復帰していますし、男性からも育休の申請が出ました。

今後の展望をお伺いします。

新たな展開に向け投資会社による提携も検討しています。経済学者のシュンペーターが「イノベーションとは新しいコンビネーション」と言っていますが、現状を俯瞰し、事業領域の外にある技術とのマッチングでイノベーションが生まれるのではないかと考えています。ビジョンを共有できる人と共同で新たな価値を生み出したいと考えています。

座右の銘を教えてください。

「成功を追い求めるよりも、成長を追い求めよう」です。成功は、今置かれている中でどう成功しようかとなってしまいますが、成長を求めるなら自分の殻を破って新しいものを探しに行かないといけません。大事にしたいのはそういったところです。

会社概要

いなほ化工株式会社

創 業：1973(昭和48)年7月
所 在 地：高岡市駅南4丁目8番6号
資 本 金：5,500万円
事業内容：水稲用育苗培土・土壤改良資材・園芸用育苗培土の製造販売、飲食業の営業
従業員数：142名（2023年6月現在）
売 上 高：28億円（いなほ化工(株)単体）
事 業 所：富山工場、秋田工場、岩手工場、横手流通センター、とりでん（高岡駅南店、水沢店）、タリーズコーヒーマル富山県立中央病院店
関連会社：VISIONドリブホールディングス(株)、(株)アイケイ、三新化学(株)、関東電工(株)、イナホアグリベンチャーフィリピンコーポレーション
U R L：https://www.ihk.jp

略 歴

1982年1月高岡市生まれ。
2004年金沢学院大学経済情報学部卒業後、商社勤務を経て、2011年いなほ化工(株)入社、2019年8月から代表取締役社長。



出来上がったばかりのビジョンを可視化する絵

事業活動報告

2023年6月15日～ 8月9日

(OL) = オンライン併用開催

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加人数
会 議	環境委員会「県内企業見学会」	環 境	6月22日(木)	ヘルジアン・ウッド	15名
	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	6月23日(金)	富山経協・研修室	10名
	環境委員会「富山県との情報交換・定例委員会」	環 境	7月12日(水)	富山経協・研修室 (OL)	71名
	北陸三県・長野県経営者協会役員協議会		7月14日(金)～15日(土)	セイコーエプソン(株)広丘事業所 善光寺・長野県立美術館	17名
	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	7月19日(水)	富山電気ビルディング	15名
	品質管理委員会「定例委員会・見学会」	品質管理	7月25日(火)	日本ゼオン(株)高岡工場	19名
	西部地区会員懇談会		7月28日(金)	ホテルニューオータニ高岡(OL)	120名
	品質管理委員会「臨時幹事会」	品質管理	8月 1日(火)	タワー 111ビル 2階研修室	10名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	6月15日・29日(木) 7月 6日・13日・27日(木) 8月 3日(木)	富山経協・研修室	28名
	管理職基礎コース	教 育	6月20日(火)・21日(水)	富山経協・研修室	37名
	ものづくりと現場改善実践セミナー	品質管理	6月20日(火)・21日(水)	インテック大山研修センター	27名
	労働法実務講座(第1回)	人事労務	6月22日(木)	富山経協・研修室 (OL)	44名
	職場リーダー入門コース【A日程】	教 育	7月 4日(火)・ 5日(水)	タワー 111ビル 3階スカイホール	67名
	職場リーダー入門コース【B日程】	教 育	7月11日(火)・12日(水)	タワー 111ビル 3階スカイホール	65名
	部長課長実践講座	品質管理	7月20日(木)～22日(土)	インテック大山研修センター	23名
	会議の生産性を向上する ビジネスファシリテーター養成講座	教 育	7月26日(水)	富山経協・研修室	23名
	なぜなぜ分析活用セミナー<基本コース>	品質管理	8月 2日(水)	タワー 111ビル 4階ギャラリー	46名
	財務会計の基礎講座	教 育	8月 4日(金)	富山経協・研修室 (OL)	24名
	現場の技術・技能伝承支援研修	品質管理	8月 8日(火)	富山経協・研修室	16名
	なぜなぜ分析活用セミナー <ブラッシュアップコース>	品質管理	8月 9日(水)	富山経協・研修室	23名

北陸三県・長野県経営者協会役員協議会

7月14日(金)～15日(土)、福井経協から2名、石川経協から4名、長野経協から6名、当協会から5名の計17名の各県役員が出席し、「北陸三県・長野県経営者協会役員協議会」を長野県で開催した。

初日14日(金)は、松本市にある国宝「松本城」を見学した後、「セイコーエプソン(株)広丘事業所(長野経協会長企業)」で最新テクノロジーによる環境負荷を低減する資源の再利用事例などを視察した。

ホテルメトロポリタン長野で懇親会を行い、長野経協 碓井会長の挨拶の後、富山経協 山下会長の音頭で乾杯し、情報交換をしながら親交を深め



た。次期開催県である福井経協 光野会長の中締めで閉会した。

翌日15日(土)は、「善光寺」参拝後、2021年4月にランドスケープ・ミュージアムをコンセプトに生まれ変わった「長野県立美術館」を見学した。

総務交流委員会

■ 定例委員会

7月19日(水)、水谷委員長はじめ委員15名が出席して富山電気ビルディングで開催した。

水谷委員長挨拶後、2023年度事業実施状況報告と2023年度事業活動の審議を行った。事務局より、①調査活動の実施状況を報告、②ゴルフコンペ、県内企業見学会、

ボウリング大会についての意見を委員から聞き、ゴルフコンペはプレー終了後に懇親会を行う計画であること、企業見学会は情報を集めて秋開催とすること、ボウリング大会は昨年同様に多くのチームが参加できるようにすることで承認された。

調査活動では、経営企画・IT



委員会からの案をベースに全15項目の調査を実施することで承認された。

その他として、9月に第2回目の定例委員会を開催する。9月15日の富山地区会員懇談会と9月16日のゴルフコンペの参加依頼を行った。最後に山田副委員長が閉会の挨拶をして、終了した。

新委員長の紹介

総務交流委員会 北陸電気工事株式会社

代表取締役会長

水谷 和久



品質管理委員会

■ 定例委員会

7月25日(火)、谷川委員長はじめ委員19名が出席して、日本ゼオン(株)高岡工場で開催した。

定例委員会に先立ち、企業見学会を開催した。はじめにゼオン高岡グループと統合生産センター(IPC)の概要を聞いた後、同社の「生産革新の取り組み」として、3Sの徹底や改善活動「ZΣサークル」等について説明頂き、活発

な意見交換を行った。引き続き、化学プラント、スマート資材倉庫、統合生産センター(IPC)を見学し、同社が取り組むデジタル技術の活用について実際に目で見体感することができた。

定例委員会では、新委員・交代委員を紹介の後、2023年度委員会活動計画について報告し、9月と12月の定例委員会では、DXに関する講演会とグループディスカッ



ションを合わせて行うことを確認した。また、県外企業見学研修会は4年ぶりに10月に実施予定で、現在調整中である旨を報告した。

経営企画・IT委員会

■ 定例委員会

6月23日(金)、萩中委員長はじめ10名が出席して富山経協・研修室で開催した。

第一部の定例委員会は、萩中委員長挨拶の後、事務局より2023年度事業活動状況について報告した。審議事項については、企業と従業員のウェルビーイング創出事業(県との共催セミナー)のテーマ

は「女性活躍推進コース」に、経営課題調査(第1回目)のテーマは「人口減・人手不足関連」に決まった。

第二部は、大阪大学招聘准教授で(株)ソシオラボ代表の中川郁夫氏を講師に、「腹落ちするDX(企業編)～デジタル企業に学ぶ、変化の時代のビジネス戦略」と題してセミナーを開催した。



今回の委員会は9月11日(月)に開催し、事業活動状況について報告する予定。

環境委員会

■ 県内企業見学会

6月22日(木)、委員並びに各社環境部門の担当者15名が参加し、ヘルジアン・ウッドを訪問した。同所は、ハーブの力を体感できる施設として、前田薬品工業(株)代表取締役社長 前田大介氏の発案により2020年に開業した。

はじめに、ラベンダーやどくだみ等の薬草の持つ効果などについて説明を受け、建築家 隈研吾氏設計のアロマ工房、レストラン、イベント広場などを見学した。続いて、ハーブ園で薬草の刈り取り体験を行い、参加者はハーブの香りと大自然が持つ力を体感した。



■ 富山県生活環境文化部との情報交換・定例委員会

7月12日(水)、定例委員会に合わせ、富山県生活環境文化部との情報交換を開催した。

第1部の県との情報交換は(一社)富山県機電工業会の環境委員会との共催事業として富山経協・研修室で、両団体合わせて71名(来場31名・オンライン40名)が参加した。富山県から生活環境文化部環境政策課地球環境係主任 飯野

弘奈氏、商工労働部商工企画課企画係係長 竹部功一氏の2人を招き、下記の2つのテーマについて説明を頂き、参加者は質疑応答を含め活発に情報交換を行った。

(講演要旨は下記掲載)

第2部の定例委員会は、小田委員長挨拶の後、事務局より幹事・委員交代の紹介と2023年度事業計画について説明した。9月の定例委員会はGXに関する勉強会を併催し、10月の県外企業見学会は日



帰りで「北陸電力(株)志賀原子力発電所」を見学する。また、12月の定例委員会では、富山県と森林J-クレジットセミナーを共催することが、審議の結果決まった。

「再生可能エネルギー導入促進事業について」

要旨

「県の物価・エネルギー高騰対策について」

富山県生活環境文化部
環境政策課 地球環境係 主任 飯野 弘奈

県では、2023年3月に富山県カーボンニュートラル戦略を策定し、中期目標である2030年温室効果ガス排出量53%削減(2013年度比)や、長期目標である2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネルギーの徹底的な実施や再生可能エネルギーの最大限の導入を進めることとしております。そのため、今年度新たに、県民や県内企業に対し、自家消費型の太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入に係る経費の一部を補助する事業を実施しており、7月から申請受付を開始しています。

2050年カーボンニュートラル実現のためには、県民、事業者、自治体の各主体によるより一層の取組みが必要となります。事業者の皆様には、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入について、一層の取組みをお願いするとともに、本補助金の活用についてもご検討いただくようお願いします。

▼再生可能エネルギー導入促進補助金(富山県)について
http://www.t kz.or.jp/saiene_hojokin/r5/index.html

富山県 商工労働部
商工企画課 企画係 係長 竹部 功一

県では、現下のエネルギー価格をはじめとする物価高騰等が経済に及ぼす影響を踏まえ、補正予算を含む今年度予算において事業者向けの支援を進めています。

支援にあたっては、生産性の向上や適正な価格転嫁により、賃金の持続的な引上げが行われ、消費が活性化する県内経済の好循環を目指すことが重要であることから、①「中小企業ビヨンドコロナ補助金」を拡充し、生産性向上の取組みなどを後押しするとともに、②特別高圧電力を使用する中小企業への電気使用量に応じた補助、③賃上げや人材の確保・定着、④適正な価格転嫁に向けたパートナーシップ構築宣言の積極的な広報・登録の推進、⑤商工団体等によるプレミアム付き商品券の発行支援などに取り組んでいます。

また、特別高圧電力を使用する大規模事業所に向けては、調達先を含めた二酸化炭素排出量の測定や、国際的認証の取得に必要な経費の2分の1(上限1,000万円)を支援します。今後説明会も開催いたしますので、ぜひ活用のご検討をお願いします。

階層別研修

■ 職場リーダー入門コース

7月4日(火)・5日(水)のA日程に67名、7月11日(火)・12日(水)のB日程に65名が参加して、タワー 111ビル3階スカイホールで開催した。

(一社)日本産業訓練協会主幹講師 府川亮一MTPインストラクターの指導により、企業目標を達成するための「職場の活性化」と「態度能力向上」に力点を置いた研修プログラムに沿って、監督者の重要な役割である「目標達成に向け、部門のマネジメントを日々行うとともに、部下の能力を最大限に引き出し育成し、業績にむすび

つけていく」ために必要なマネジメントの4つの側面(問題解決、日常業務管理、部下育成、信頼関係形成)について、講義に加え、事例研究や意見交換などを行いながら学んだ。

また、県内役職者による「企業の実例に学ぶ」講演会では、A日程の1日目には、三協立山(株)総務人事統括室人事部人事課長の西岡将寿氏が「リーダーとしてのコミュニケーション」と題して、B日程の2日目には、(株)スギノマシン執行役員管理本部長の清水宏記氏が「真心創り・もの創り・未来創り」と題して講演した。



受講者は2日間を通して、管理監督者としての取り組み方や、部下との関わり方について学んだ。



参加者NOTES

「職場リーダー入門コース」を受講して

コマツNTC株式会社
開発本部 設計二部

嶋田 仁志



今年4月より新たな環境で業務を遂行することになり、より高い視点や現業務への心構えを学びたく受講しました。

講習では、グループディスカッションを中心に富山県内各企業からの受講者と意見を交わし、ケーススタディにより管理の4側面(改善改良、日常業務管理、部下育成、人間関係づくり)に関する分析を行いました。事例では「報告がゆがめられる原因」「人に関する問題」が印象に残っています。同じグループになった方の考えを伺うと、事実を整理し「態度が攻撃的」といった核心的な原因を正

確に把握されていたことに感銘を受けました。

そして、この管理の4側面を実践するために良い職場リーダーが身に着けておくべき態度能力(三つの理解・三つのコア条件・四つの力の研鑽)を教わりました。態度能力は仕事への姿勢や人への接し方であり、企業や職場・個人によってさまざまです。更には、実践しブラッシュアップを行わなければ成果を上げることはできません。この一人一人異なる態度能力の積み重なりが職場の風土となるため、態度能力向上は職場の活性化につながり、より良い職場への

変革につながっていくものであることを学びました。

職場に戻り業務を進めるなかで、今回のセミナーを経て意識するようになった態度能力がいくつもあります。例えば「聴く力」です。受講前は受動的な傾聴が良いと考えていましたが、受講後では相手に積極的に話をさせることで、知情意の共有化を円滑に図るよう努めています。

激変する情勢や市場環境に企業が対応するためには、達成感・充実感に満ちた職場は不可欠だと考えています。そのためには、学んだ態度能力の内容を生かし、活性化したより良い職場を作るリーダーとして行動習慣に現れるよう実践していく所存です。

このような貴重な講習を開催いただき、御礼申し上げます。

■部課長実践講座

7月20日(木)～22日(土)の2泊3日で、23名が参加し、インテック大山研修センターで開催した。

本講座は経営幹部の候補者である部課長を対象に、経営目標を達成するため自らの役割認識に立ち、必要な問題点の発見・改善方法について実践的に学ぶことを目的としており、今年度44回目の開催となった。

1日目はCSポート(株)代表取締役社長 町野利道氏から「問題の発見・解決と方針管理」と題して、問題の発見は「あるべき姿」を外務から持ってくることで、問題の解決

は解決できるサイズに分解し連続で行うこと、方針管理は目標達成のためのプロセスに分解すること、教育は変わるための時間・期間を用意することなどを学んだ。M&P研究所代表 棚邊一雄氏からは「激動の時代に部課長は何をなすべきか」と題して、俯瞰する力の醸成、「モノ・人の流れ」をみる力の醸成、「部下を導く力」の醸成、「人と人のつながり」について、企業事例を交えて学んだ。

2日目には特別講演として、ロバスト経営研究所所長 鈴木晴氏から「部課長に望むこと」と題し、先人の知恵(心に響く文言)と自ら



の経験談から、ヒューマンスキル(人間力)を磨く重要性を学んだ。

グループディスカッションでは「自部門の目標を達成するための部課長の役割」をメインテーマとし、異業種、異職種メンバーで共有化した問題点を、解決するまでのストーリー展開を講師・世話人の指導を受けてまとめ上げた。

参加者NOTES

「第44回部課長実践講座」を受講して

中越合金鋳工株式会社
製造一部 生産管理課 課長代理 西野 公紀



当社では、昨年10月の子会社吸収合併により、組織間の風通しを良くし、より一層の効率化を図るための体制強化を進めています。また、基本方針「流れるように作る」を実現するため、全社一丸となって日々取り組んでいます。

今回、講座を受講し、有益な学びがたくさんありました。

CSポート(株)代表取締役社長 町野利道先生の「問題の発見・解決と方針管理」の講義では、TQMについてと目的意識の大切さ、失敗学的な考え方など、歯に衣着せぬ気持ちのよい語りでご教授いただき、「上司から、けなされたら大したものだ!」のお言葉が心に残りました。

M&P研究所代表 棚邊一雄先生の「激動の時代に部課長は何をなすべきか」の講義では、慣習を見抜くための俯瞰的な物の見方

や、部下の教育方法などを、物腰の柔らかい語りでご教授いただき、「学ぶことの最大の障害は答えを教えることである」のお言葉を受け、教え方の難しさを再認識できました。

ロバスト経営研究所所長 鈴木晴先生の「部課長に望むこと」の講義では、先生ご自身のお言葉とさまざまな偉人の箴言をもとに、働き方やヒューマンスキルについて真摯な語りでご教授いただき、知識を蓄え実践する意欲が増えました。「ありがとうを今日何回言った?感謝をしっかりと伝えることが大切である」のお言葉は即実践しようと思いました。

先生方の講義は、一言一句が自分を見つめ直す、きっかけとなり、自分にとって肥やしになるものでした。

また、グループディスカッショ

ンでは、「自部門の目標を達成するための部課長の役割」をメインテーマに、参加者が現在の自分の悩み事を持ち寄った中から共通の悩み事を選定し、QC的な考えを踏まえ、深く考えることで、解決のヒントを見つけることができました。メンバーと泥くさいディスカッションを何度も繰り返し、右往左往する事が、要因に対しての検証となり、真因に辿り着く一番の近道であることを学びました。

夜の懇親会でも、大変興味深い話ばかりで、「飲みニュケーション」も本講座の魅力の一つと思いました。最終日の質問コーナーでは、町野先生と棚邊先生より最後の最後まで一人一人の質問に対し真摯なご回答をいただきました。

3日間の講座を通して、コミュニケーションの大切さと自分の力量の不十分さを改めて痛感することができました。これからも、話すこと、学ぶことを楽しみながら、より人から頼られる人間を目指しつつ、自分の職務を全うすることで、自社に、そして社会に貢献していきたいと思っています。

■管理職基礎コース

6月20日(火)・21日(水)、37名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

講師の(公財)日本生産性本部主任経営コンサルタント 樋口伸亨氏が、①管理者の重要性と役割、②業績向上のマネジメント、③部下育成のマネジメントについて具体的事例を交えて解説し、グルー

プディスカッションで活発に議論を交わした。特に部下の育成については、目標管理や人事考課の目的と仕組みを確認し、動画を用いて指導のあり方や部下とのコミュニケーションを検討した。

2日間の学びの中から得た自分の課題を、7～10月の4カ月間自社内に持ち帰って実践し、10月19日(木)にグループで振り返り、好



事例を発表する。組織力強化のマネジメント、変革と推進のリーダーシップについても学ぶ予定。

共 通

■会議の生産性を向上するビジネス・ファシリテーター養成講座

7月26日(水)に23名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

本研修は、会議におけるファシリテーションのスキルとマインドを理解し、自社の会議やプロジェクトの進行役としての役割を果たせる人材を育成することを狙いとして開催している。講師の寺沢俊

哉(公財)日本生産性本部首席経営コンサルタントはロールプレイ実習を用いて、①「対話の基本」のスキル、②会議を企画する「しこみ」、会議を進行する「さばき」のポイントを伝え、③わが社の会議を見直しについて、要点を示しながら解説した。また、オンライン会議についての具体的な事例についても触れ、グループに分かれて活発な



実習が行われた。最後に実際の事例を学び、会議について見直した。

■なぜなぜ分析活用セミナー

8月2日(水)と9日(水)の2回にわたり、〈基本コース〉はタワー111ビル4階ギャラリーで46名、〈ブラッシュアップコース〉は富山経協・研修室で23名が参加して開催した。今年度より受講者の満足度向上をねらい、2コース設けた。

(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 土方貞夫氏は、なぜを5回繰り返すことで真因追究と再発防止が徹底される“なぜなぜ分

析”について、「現場」「現物」「現実」行動で問題の本質を知り、要因を正確に把握することが大事としたうえで、なぜなぜ分析実践上の“10の決め事”など具体的な進め方や考え方を説明した。また、品質問題への取り組みとして製造部門での管理方法や考え方について事例を用いて解説した。

グループ演習では、〈基本コース〉は受講者が共通認識できる身近な事例を用いて、〈ブラッシュ



アップコース〉は受講者自身が現在抱えている問題を演習課題として、講義で学んだ内容を活かしながら、なぜなぜ分析シートの見直し作成と発表を行った。

■会計の基礎講座～会計から見た稼ぐ力と伸ばす工夫～

8月4日(金)、富山経協・研修室に11名、オンライン13名の計24名が参加して開催した。

講師は(株)フォーワン代表取締役の羽田野正博氏と、同取締役の羽田野泰氏。貸借対照表や損益計算

書、キャッシュフロー計算書など、財務会計の基礎を整理し、さらに管理会計、中でも損益分岐点分析を中心とした利益計画の立て方について具体的な事例を交えて学習した。予算管理と原価管理・直接原価計算の考え方や活用方法についても理解を深め、最後に会計思



考の活かし方を改めて確認した。

労務管理

■労働法実務講座(第1回)

6月22日(木)、「時間外・休日労働をめぐる諸課題と労働監査への対応」をテーマに、富山経協・研修室で44名(会場20名、オンライン24名)が参加して開催した。

講師には第一協同法律事務所の伊藤昌毅弁護士が、使用者として適正な労働時間管理の観点から押さえておくべき時間外・休日労働

に関する諸問題と、労働監査への対応のポイントについて、①労働時間に関する基礎知識、②労基法改正、③固定残業代制をめぐる諸問題、④時間外・休日労働の管理、⑤時間外・休日労働と適用除外、⑥労働監査への対応について、自身の経験や具体的な裁判例を交えて分かり易く解説した。受講者からは活発な質問もあり、各企業で



担当する労務管理面で直面している課題についての理解を深めた。

生産管理

■ものづくりと現場改善

実践セミナー

6月20日(火)・21日(水)、27名が参加して、インテック大山研修センターで開催した。

この講座は、生産管理・生産技術・製造部門の管理監督者を対象に、ものづくり現場での改善の考え方や方法、実践スキルを、講義と演習を通して学び、さらに果敢に挑戦するリーダーを養成することを目的に実施している。

講師のM&P研究所代表 棚邊

一雄氏は2日間にわたり、①リーダーとしての役割の再認識、②「改善手法」を学ぶ、③職場としての最大のパフォーマンスの発揮、④職場での実践(決意表明)の4ステップで、受講者の理解度を確認しながら段階を追って講義・指導した。

また、M&P研究所とやま所長竹村稔氏は、トヨタ生産方式と標準作業の概要、作業分析について講義し、演習では玩具のレーシングカーの分解・組立やピンボード



を用いた作業動作の演習を通して、改善活動を進めるに当たって必要となる作業時間の観測・分析の手法を学んだ。

■現場の技術・技能伝承支援研修

8月8日(火)、ものづくり企業の管理・監督者16名が参加して富山経協・研修室で開講した。来年2月22日(木)までに2回の合宿研修を含む延べ18日間の日程で実施する。

この研修は、監督者としての資質や指導力を強化し、現場の技術・技能の可視化や人材育成方法、専門知識などを座学で習得するとともに、受講者の所属企業の製造現場を教室とした「現場実習」で学んだ内容を実践することで、監督者にふさわしい知識・技能・態度を総合的に身に付け、効果的に技能

伝承を進めることで職場定着を図ることを目指している。

主任講師はM&P研究所代表棚邊一雄氏とM&P研究所とやま所長竹村稔氏が担当し、監督者の役割、VSM(モノと情報の流れ図)の手法、QC的な考え方と問題解決の進め方、IEの概要と実践活動、作業の標準化と作業要領書への落とし込み等について、講義とグループワーク等を通して「現場実習」に活かせる知識・技能を学ぶ。

8月8日(火)は受講者16名の入校式を行った後、棚邊講師より概論として「ものづくりの基本」につ



いて講義があった。その後、「リーダーに期待される役割」についてグループ演習を行い、リーダーの使命である「部分最適」から「全体最適」への考え方や「良い流れ」をつくる重要性について理解を深めた。

新会員の紹介

(50音順)

■ ダイードリンコ株式会社 中部営業部 北陸オフィス

所在地 富山市大島2丁目389
代表者 中部営業部 部長 堀内 良宏
設立 1989年(平成元年)
資本金 3億5,000万円
従業員 751名(県内3名)
事業内容 清涼飲料等の販売



■ 合同会社BizMaIS

所在地 富山市経田1224
代表者 代表社員 塩口 泰地
設立 2023年(令和5年)4月
資本金 400万円
従業員 7名(県内2名)
事業内容 リスキリング・IT関連事業、
動物関連事業



会員の動き

(50音順)(敬称略)

■ 代表者の変更(窓口代表者)

池田電気工事株式会社

代表取締役 原田 潤(前:池田久範)

S T 物流サービス株式会社

代表取締役社長 安居 吉孝(前:赤澤直人)

加越能バス株式会社

代表取締役社長 松井 康浩(前:中田邦彦)

川端鐵工株式会社

代表取締役 川端 一徳(前:川端康夫)

北日本放送株式会社

代表取締役社長 島谷 浩司(前:瀧脇俊彦)

株式会社新湊製作所

代表取締役社長 長谷川裕章(前:布村敏夫)

株式会社スクールエー

代表取締役 清水 研吉(前:清水哲朗)

ゼオンノース株式会社

代表取締役社長 松崎 肇(前:梅崎 聡)

中越精器株式会社

代表取締役社長 安川 淳(前:井出洋史)

株式会社東洋電機製作所

代表取締役 川野 幸夫(前:片山浩之)

となみ衛星通信テレビ株式会社

代表取締役社長 宅見 公志(前:河合常晴)

トナミ商事株式会社

代表取締役社長 寺拜 豊信(前:赤松 毅)

富山エヌテック株式会社

代表取締役 新田真樹子(前:丸井漠樹)

一般社団法人富山県労働基準協会

会長 塩谷 誓勝(前:水谷和久)

富山地方鉄道株式会社

代表取締役社長 中田 邦彦(前:辻川 徹)

堤商事株式会社

代表取締役社長 岩井 典宏(前:菊島聡史)

にいかわ信用金庫

理事長 本多 敏明(前:岸 和雄)

富士フィルムマニュファクチャリング株式会社 富山事業所

事業所長 藤倉 大介(前:原 敬)

株式会社会社プレステージ・インターナショナル

富山BPOタウン

富山BPOタウン 拠点長 澤田石大介(前:門山雅一)

北越商工株式会社

代表取締役 野上 典子(前:野上瓊公)

北銀カード株式会社

代表取締役社長 両保 佳幸(前:南 直樹)

北銀ソフトウェア株式会社

代表取締役社長 辰島 剛(前:小嶋達也)

北銀リース株式会社

代表取締役社長 南 直樹(前:宮村 樹)

北電テクノサービス株式会社

代表取締役社長 石丸 哲也(前:高松 正)

北陸コンピュータ・サービス株式会社

代表取締役社長 小嶋 達也(前:多賀 満)

株式会社北陸電力リビングサービス

代表取締役社長 高野 隆宏(前:茶谷修治)

株式会社ホライズン・ホテルズ 富山ホテル事業所

(ANAクラウンプラザホテル富山)

総支配人 玉置 滋憲(前:浅沼源太郎)

三菱ケミカル株式会社 富山事業所

事業所長 井上 吉明(前:久保田喜文)

株式会社リッチェル

代表取締役社長 江本 千之(前:渡邊信樹)

■ 役職位の変更(窓口代表者)

株式会社大谷工業

常務取締役 竹内 克彦(前:取締役)

中越パルプ工業株式会社

代表取締役副社長 副社長執行役員 福本 亮治
(前:取締役 専務執行役員)

東ソー・セラミックス株式会社 富山工場

代表取締役社長 渡邊 正広(前:取締役工場長)

日本高周波鋼業株式会社

取締役専務執行役員富山製造所長 下野 茂治
(前:専務執行役員富山製造所長)

ブリーズバイオペレーション3号株式会社

ホテルグランテラス富山

経営支援部マネジャー 益田 貴司(前:執行役)

北陸電気工事株式会社

顧問 矢野 茂(前:代表取締役社長)

■ 社名の変更

株式会社スマートレジリエンス(旧:竹田運輸倉庫株式会社)

N i X JAPAN 株式会社(旧:株式会社新日本コンサルタント)



表紙の花
夜に咲くサガリバナ

(富山県中央植物園 園長 中田政司)

夜咲く幻の花

夜に一晩だけ咲く花といえば南米原産のゲッカビジンが有名ですが、日本にも「幻の一夜花」といわれる植物があります。それが植物園の熱帯雨林植物室に植えられていて、毎年8月の夜間開園で見ることができるサガリバナです。

「下がり花」の名前の通り、長さ50cmを超える長い花柄が枝から垂れ下がり、数十個の花が横向きに付きます。白色～ピンク色をした多数の長い糸状のものは雄しべで、よく見るとまん中に1本、赤い雌しべが混じっています。付け根の白い三角形のものは花弁で、4枚あります。

花は日没後に咲き始め、自生地では、バニラのような甘い香りと蜜に誘われて蛾などの昆虫が集まり花粉を運びます。明け方5時頃には、役目を終えた雄しべと花弁はそのまま落ちてしまいます(写真)。



海流散布される果実

サガリバナは熱帯や亜熱帯の水辺に生育する樹木で、アフリカ東岸部から、インド、東南アジア、太平洋地域からオーストラリア北部まで広く分布しています。サガリバナの果実は鶏卵ほどの大きさで海水に浮き、濡れても発芽能力を失わないので海流で運ばれるのです。

サガリバナは日本では南西諸島に分布しており、沖縄では水辺に生えて藤のように花が垂れ下がることから別名を「サワフジ(沢藤)」といい、また群生地では花が満開になると離れていても香りが漂ってくることから「モウカバナ(舞香花)」とも呼ばれています。

宮古島や石垣島では、サガリバナ観賞の観光ツアーが人気で、西表島では早朝、水面一面に漂う幻想的な落花をクルーズ船やカヌーで観賞することもできます。

◀ 翌朝のサガリバナの落花

キャリア人材バンク®登録のおすすめ

生涯現役社会の実現に向けて、高年齢者の就業を支援します。



費用は一切かかりませんので、お気軽にお問い合わせください。



公益財団法人
産業雇用安定センター 富山事務所
〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10階
TEL 076-442-6900 FAX 076-439-2860

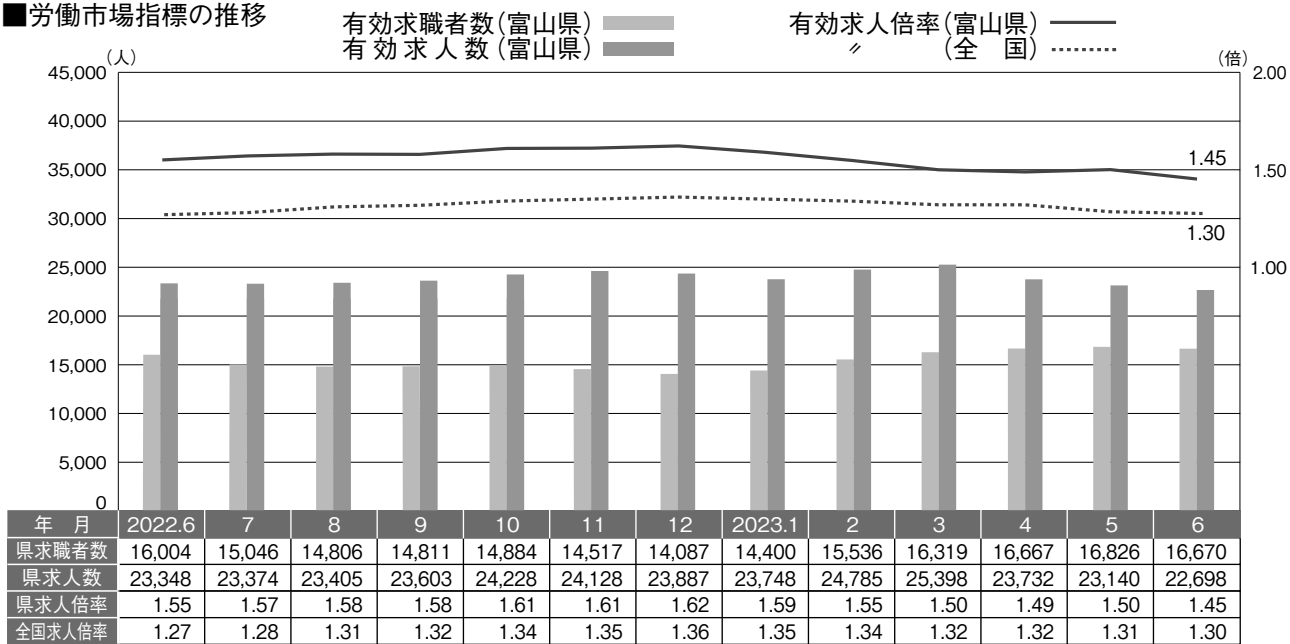
ご利用時間/9:00~17:00
(土・日・祝日は休み)



センターの
ホームページ

労働指標

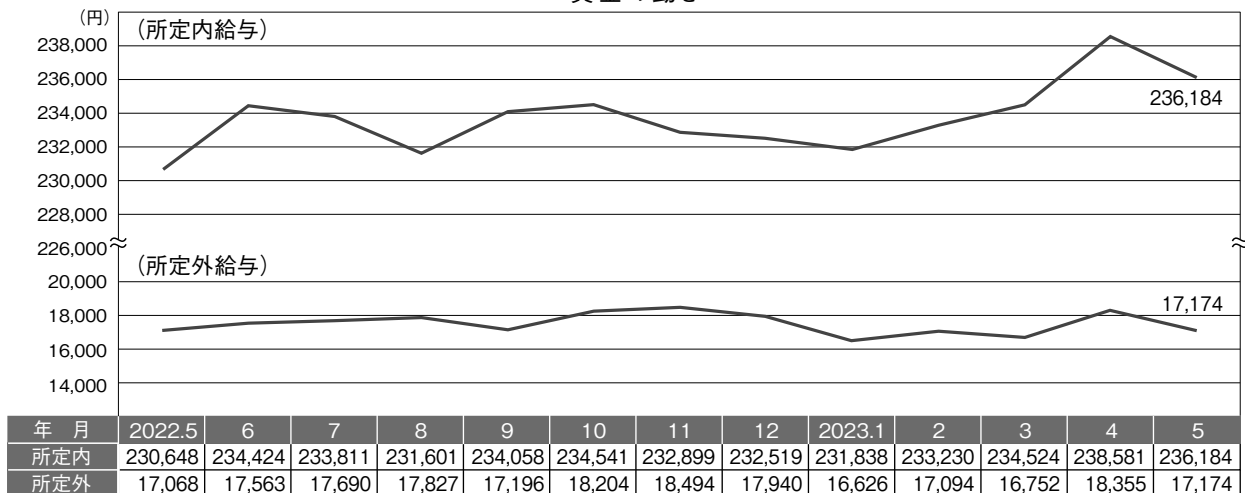
労働市場指標の推移



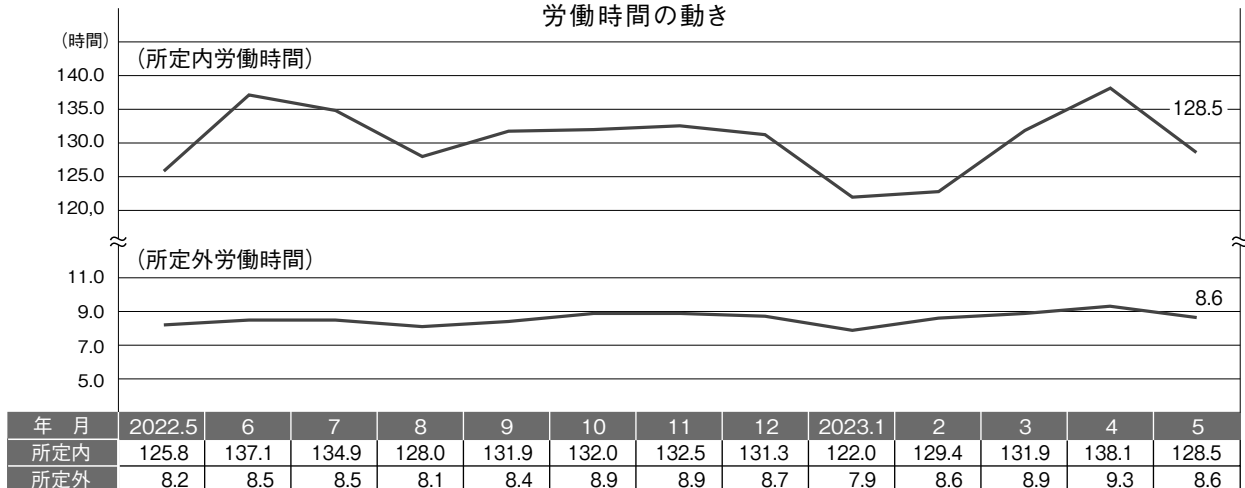
出典：富山労働局「労働市場月報」https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html
 注) 2022年12月以前の有効求人倍率の数値は新季節指数により改定されています。

賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

賃金の動き



労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

おしらせ

9月15日(金) 富山地区会員懇談会

場 所：ホテルグランテラス富山 (富山市桜橋通り2番28号 電話(076)431-2211)

16:00~17:30 講演会 テーマ 「富山の人口減の真実を知る」 <4階 瑞雲>
～富山の企業が取り組むべき「改革」とは～

講 師 株式会社ニッセイ基礎研究所
生活研究部 人口動態シニアリサーチャー 天野 馨南子 氏

17:40~19:00 懇親会 <3階 薫風の間>

事業予定

2023年 8月16日～10月15日

詳しくはホームページ(<https://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

OL=オンライン併用開催

	開催日	時間	事業名	委員会名	場 所
会 議	8月28日(月)	15:00~17:20	人事・労務政策委員会「講演会・定例委員会」	人事・労務政策	富山電気ビルディング
	8月31日(木)	14:30~17:30	教育委員会「勉強会・定例委員会」	教 育	富山経協・研修室 OL
	9月11日(月)	15:00~17:15	経営企画・IT委員会「講演会・定例委員会」	経営企画・IT	富山経協・研修室 OL
	9月15日(金)	15:30~15:50	理事会		ホテルグランテラス富山
	9月15日(金)	16:00~19:00	富山地区会員懇談会 上記おしらせ参照		ホテルグランテラス富山
	9月20日(水)	14:00~17:30	品質管理委員会「定例委員会・講演会・GD」	品質管理	富山経協・研修室 OL タワー111ビル3階スカイホール
	9月25日(月)	14:00~16:40	環境委員会「勉強会・定例委員会」	環 境	富山経協・研修室 OL
	9月27日(水)	16:30~17:30	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	富山電気ビルディング
会 員 交 流	9月16日(土)	7:59~	富山経協ゴルフコンペ	総務交流	呉羽カントリークラブ
講 座 ・ セ ミ ナ ー	8月22日(火)	9:30~16:30	女性社員活躍セミナー	教 育	タワー111ビル4階ギャラリー
	8月23日(水)	9:30~16:30	人事・労務管理セミナー (第2回)	人事・労務政策	富山経協・研修室
	8月24日(木) 9月14日(木)・28日(木) 10月12日(木)	9:00~17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室
	8月29日(火) 9月12日(火)・13日(水)・26日(火) 10月 3日(火)・10日(火)	9:30~17:00	現場の技術・技能伝承支援研修	品質管理	富山経協・研修室 とやま自遊館 富岩運河環水公園
	9月 5日(火)・6日(水)	9:30~16:30	ISO14001内部監査員養成講座	環 境	富山経協・研修室
	9月 7日(木)	13:30~16:00	労働法実務講座 <第2回>	人事・労務政策	富山経協・研修室 OL
	9月 8日(金)	9:30~16:30	IE手法による生産現場の改善セミナー	品質管理	富山経協・研修室 OL
	9月12日(火)・13日(水)	9:30~16:30	自部門戦略立案研修	教 育	富山経協・研修室
	9月20日(水)	9:30~16:30	新入社員フォローアップ研修【A日程】	教 育	タワー111ビル4階ギャラリー
	9月21日(木)	9:30~16:30	新入社員フォローアップ研修【B日程】	教 育	タワー111ビル4階ギャラリー
	9月22日(金)	9:00~17:00	次世代経営者育成セミナー ～ひとしごと未来創生塾～	経営企画・IT	富山経協・研修室
	9月27日(水)	9:30~16:30	購買管理実践セミナー	教 育	オンライン開催
	10月 3日(火)・4日(水)	9:30~16:30	職場リーダー実践コース	教 育	富山経協・研修室
	10月 5日(木)・11日(水)	13:30~16:00	労務管理実務講座	人事・労務政策	富山経協・研修室 OL
	10月 6日(金)	13:30~16:30	改善力養成セミナー <業務改善・基礎編>	教 育	富山経協・研修室 OL
10月13日(金)	9:30~16:30	ヒューマンエラー未然防止セミナー	品質管理	富山経協・研修室	

「富山経協」vol.876

2023年(令和5年)8月号
2023年8月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号(タワー111ビル1階)
TEL (076) 441-9588 FAX (076) 441-9952

ホームページ <https://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp